

計 画 年 度	令 和 元 年 度
計 画 変 更 年 度	令 和 6 年 度
都 道 府 県	静 岡 県
所 在 地	藤 枝 市

土地改良事業変更計画書

水利施設等保全高度化事業
(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))

瀬戸谷

地区

事業主体	静 岡 県
------	-------

	目	次
第1章 目 的	1	6. 級地別土地利用区分
第2章 地域及び地積	1	7. 土地配分計画
第1節 地 域	1	第3節 用水計画
第2節 地 積	1	1. 計画基準年
第3章 現 況	2	2. 計画かんがい方式
第1節 気象及び海象	2	3. 計画用水系統
1. 一般気象	2	4. 計画用水量
2. 特殊気象	2	5. 水源計画
3. 海 象	3	第4節 排水計画
第2節 土地状況	3	1. 計画基準雨量
1. 地形、土壌及び浸食の程度	3 - 4	2. 計画排水方式
2. 土地分類	4	3. 計画排水系統
3. 土地利用の状況	4	4. 計画排水量
4. 土地所有の状況	5	5. 排水対策
第3節 水利状況	5	6. 湛水検討
1. 用水状況	5	第5節 道路計画
2. 排水状況	7	1. 道路及び索道
3. 河川状況	9	2. 路線配置図
第4節 道路現況	9	第6節 農用地造成計画
1. 道路概況	9	1. 農用地造成計画
2. 主要道路一覧表	9	2. 土壌改良
第5節 地域農業の概況	10	第7節 洪水調節計画
1. 産業別就業人口	10	1. 計画基準雨量
2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の 分散状況並びに専兼業別農家数	10	2. 計画洪水量及び調節量
3. 動力農機具及び主要家畜頭数	11	3. 貯水池
4. 主要作物作付状況	12	4. 洪水調節検討
5. 農業の動向	13	5. 管理計画
第6節 地域環境の概況	13	第8節 干拓計画
第4章 一般計画	14	第9節 農用地整備計画
第1節 事業計画の要旨	14	1. 区画整理
1. 要 旨	14	2. 暗渠排水
2. 事業別面積	14	3. 客 土
第2節 営農計画及び土地利用計画	14	4. 農地保全
1. 営農計画の概要	14	第10節 老朽ため池改修計画
2. 土地利用区分	14	1. 洪水吐改修計画
3. 作付方式	15	2. 堤体補強計画
4. 生産計画	15	3. 取水施設改修計画
5. 労働改善計画	15	第5章 主要工事計画
		第1節 用水施設
		1. 貯水池
		2. 頭首工

3. 揚水機	24	第3節 換地計画樹立の基本方針	32
4. 用水路	24	1. 従前の土地の面積の基準	32
5. その他かんがい施設	24	2. 用途別予定地積	33
第2節 排水施設	25	3. 農用地集団化の方針	34
1. 排水水門	25	4. 非農用地の換地方法	34
2. 排水機	25	第4節 土地の評価及び清算の方法	34
3. 排水路	25	1. 評価の方法	34
4. その他排水施設	25	2. 清算の方法	34
第3節 道路及び索道	25	第5節 換地計画樹立の年度計画	35
1. 道 路	25	第6節 換地処分の特則	35
2. 索 道	25	第10章 事業費の総額及び内訳	36
第4節 農用地造成	26	第11章 効 用	37
1. 農用地造成	26	第12章 関連する事業	37
2. 土壌改良	26	第13章 現況・計画図面	37
第5節 洪水調節施設	27	1. 現況平面図	37
1. 貯水池	27	2. 計画平面図及び土地利用計画図	37
2. 頭首工及び導水施設	27	3. 主要構造図	37
第6節 干拓施設	27		
1. 堤 防	27		
2. 潮止め	27		
3. 付属施設	27		
4. 埋 立	27		
第7節 農用地整備施設	28		
1. 区画整理	28		
2. 暗渠排水	28		
3. 客 土	28		
4. 除 礫	28		
5. 農地保全	29		
第8節 老朽ため池改修施設	29		
1. 貯水池	29		
2. 堤体補強施設	29		
第6章 附帯工事計画	30		
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	30		
第8章 環境との調和への配慮	31		
第9章 換地計画の概要	31		
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	31		
第2節 換地区の設定	31		
1. 換地区の名称, 所在, 面積	31		
2. 換地区を設定する理由	31		

第1章 目 的

本地域の農業は、気象・地理的条件を生かした茶の栽培が古くから盛んである。しかしながら急傾斜な茶園と狭隘な園内道路に起因する乗用型茶園管理機導入等による農作業の効率化の遅延や、作業従事者の高齢化、後継者不足等により、継続的な農業経営が困難となりつつある現状である。そこで、区画整理を実施し、茶園の平坦化を図るとともに、園内道路及び支線農道を整備し、農作業の効率化を促進し、農業競争力の強化を図りたい。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
水利施設等保全高度化事業 (畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))	藤枝市

第2節 地 積

(令和5年11月 現在)

(第2表)

事 業 名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
水利施設等保全高度化事業 (畑地帯総合整備事業(畑地帯 総合整備型))	藤枝市		10.2 (10.7)			0.2 (0.1)	10.4 (10.8)	上段:変更前 下段:変更後
合 計			10.2 (10.7)			0.2 (0.1)	10.4 (10.8)	上段:変更前 下段:変更後

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	静岡	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	1985～2017	4月～9月	10月～3月		
平均気温(℃)		22.3℃	11.2℃	16.7℃	
降水量	平均(mm)	1,478mm	837mm	2,315.1mm	
	基準年(mm)	mm	mm	mm	
降水日数	平均(mm)	65日	43日	109日	
	基準年(mm)	日	日	日	
根雪期間		月 日 ～ 月 日	日間		
無霜期間		月 日 ～ 月 日	日間		
最多風向		NE	最大風速 (風向)	33.7 m/S	最多風速 最大風速

(気象庁HP「過去の気象データ」より)

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	
静岡																
観測期間	S.25年～H.29年															
最大日雨量(mm)	368.0	H16.6.30	1/137	318.0	H14.7.10	1/49	297.5	S57.9.12	1/32	288.5	H13.9.10	1/27	278.5	S49.7.8	1/22	
最大時間雨量(mm)	111.5	H15.7.4	1/383	83.5	H3.9.14	1/39	81.5	H16.6.30	1/33	76.0	S49.7.7	1/21	73.5	S62.8.6	1/17	
最大4時間雨量(mm)																
最大連続雨量(mm)	508.0	S49.7.7	1/122	497.0	S57.9.10	1/106	368.0	H16.6.30	1/20	363.5	H26.10.5	1/19	353.3	S36.6.25	1/16	
最大連続干天日数(日)	55	H27.11.7	1/158	51	S48.11.11	1/85	44	S61.1.5	1/29	44	H23.1.1	1/18	40	S37.1.2	1/16	

3. 海象

(第3表-3)

※該当なし

観測所名	既 往 最 高 位 (m)	さく望平均 満 潮 位 (m)	上下弦平均 満 潮 位 (m)	平 均 潮 位 (m)	上下弦平均 干 潮 位 (m)	さく望平均 干 潮 位 (m)	既 往 最 低 位 (m)	備 考
観測期間	年～年							
実 測 値								

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地 目		田					畑・その他							受益地標高 (m)		備 考	
	傾 斜 区 分	1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3°～ 8°	8°～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高		最低
										8°～10°	10°～15°	8°～15°						
水利施設等保全 高度化事業 (畑地帯総合整備 事業(畑地帯総合 整備型))	面積 ha							2.9	5.1 (5.5)	1.3				1.1	10.4 (10.8)	590.0	290.0	上段:変更前 下段:変更後
	比率 %							27.9 (26.9)	49.0 (50.9)	12.5 (12.0)			10.6 (10.2)	100.0 (100.0)				
	面積 ha														-			
	比率 %														-			
合 計	面積 ha							2.9	5.1 (5.5)	1.3	-	-	-	1.1	10.4 (10.8)			上段:変更前 下段:変更後
	比率 %							27.9 (26.9)	49.0 (50.9)	12.5 (12.0)	-	-	-	10.6 (10.2)	100.0 (100.0)			

(第4表-1-2)

項目	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)		備 考	
	土 壌 断 面										事 業 名			
	色	腐 植	礫 層	酸 化 沈 殿 物	土 性				泥炭層, 黒泥層 及 び グライ層	堆積様式	母 材	水 利 施 設 等 保 全 高 度 化 事 業 (畑地帯総合整備事 業(畑地帯総合整備		
					表 土	下 層 土						計		
土 壌 統 (区) 名				一 層	二 層	三 層	...							
												10.4 (10.8)	上段:変更前 下段:変更後	
三倉1統	褐	有	有	無	CL	CL								
玉取1統	暗褐	無	有	無	CL	CL					固結地積岩			
宮原統	灰	無	有	無	CL	CL					腐砕地積物			
計												10.4 (10.8)	上段:変更前 下段:変更後	

※該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ浸蝕の程度		備考
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積 (ha)											
	比率 (%)											

2. 土地分類

※該当なし

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農用地造成										計 (ha)	備考
	一級地 (ha)	二級地				三級地				四級地		
	※ (ha)	3°~8° (ha)	8°~12° (ha)	12°~15° (ha)	※ (ha)	15°~20° (ha)	20°~25° (ha)	25°~30° (ha)	※ (ha)	30°以上 (ha)		
計												※は傾斜以外の要因によるもの

※該当なし

(第4表-2-2)

級位別 市町村名	干拓				計 (ha)	備考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)		
計						

3. 土地利用の状況

(令和5年11月 現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕地					山林			採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	樹園地 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
水利施設等保全高度化事業 (畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))	藤枝市					10.2 (10.7)						0.2 (0.1)	10.4 (10.8)	上段:変更前 下段:変更後
	合計					10.2 (10.7)						0.2 (0.1)	10.4 (10.8)	上段:変更前 下段:変更後

4. 土地所有の状況

(令和5年11月 現在)

(第4表-4)

事業名	所有別						計	備考
	区分							
水利施設等保全高度化事業 (畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))	面積 (ha)	10.2 (10.8)					10.2 (10.8)	上段:変更前 下段:変更後
	受益者数 (人)	11 (10)					11 (10)	上段:変更前 下段:変更後
	筆数 (筆)	153 (172)					153 (172)	上段:変更前 下段:変更後
	権利関係備考 (関係戸数)							
合計	面積 (ha)	10.2 (10.8)					10.2 (10.8)	上段:変更前 下段:変更後
	受益者数 (人)	11 (10)					11 (10)	上段:変更前 下段:変更後
	筆数 (筆)	153 (172)					153 (172)	上段:変更前 下段:変更後
	権利関係備考 (関係戸数)							

第3節 水利状況 ※該当なし

1. 用水状況

※該当なし

(1) 用水系統

※該当なし

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

※該当なし

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権 (最大)		慣行水利権		延べ取水量 m ³ /S	備考
		10 ha 以上		5~10 ha		5 ha 未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /S	箇所	m ³ /S		
	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
合計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	

(イ)改修を要する施設一覧表

※該当なし

(第5表-2)

事業名	項目	施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水池							
	用水路 その他							
合計		-	-					

(3)用水に関する被害状況

(ア)用水不足による被害状況

※該当なし

(第5表-3-1)

事業名	系統名 項目	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m ³)	不足水量				平均減産量 (t)		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				平均 (m ³ /S)	基準年 (m ³ /S)	平均 (千m ³)	基準年 (千m ³)			

(イ)その他の被害状況

※該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温(°C)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

2. 排水状況 ※該当なし

(1)排水系統 ※該当なし

(2)排水施設

(ア)排水方法一覧表 ※該当なし

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計	排水慣行 (m3/S)	現況排水能力 (m3/S)	備考
			500ha 以上		500ha~100ha		100ha 未満					
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha				
	自然	排水路										
		水門										
	機械	排水機										
		水門及び排水機										
		排水路及び排水機										
	計											
合計												

(イ) 改修を要する施設一覧表

※該当なし

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	施設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
	施設名								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計								
合計									

(3) 排水に関する被害状況

※該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛水状況				乾湿状(ha)						平均減産量		備考		
				湛水深 (m)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m3)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)			
								乾	湿	乾	湿	乾	湿					
			平均															
			基準年															
			平均															
			基準年															
合計		0.0	平均															
			基準年															

3. 河川状況

(1) 河川の状況

※該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m ³ /S)	既往最大洪水量 (m ³ /S)	備考

(2) 洪水に関する被害状況

※該当なし

(第5表-8)

項目 河川名	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路現況

1. 道路概況

藤枝市農道

2. 主要道路一覧表

(第6表)

No.	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員(m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			
1	ネギ山農道	藤枝市	500	2.5~2.8		CO舗装	要	

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総	農	林	漁	鉱	建	製	道熱電	運通	食卸売小売業	金保	不	サー	公	そ	備 考
	数 (人)	業 (人)	業 (人)	業 (人)	業 (人)	設 業 (人)	造 業 (人)	気給ガ 水ス (人)	信 輸業 (人)	店飲 (人)	険 融業 (人)	動 産業 (人)	ビス業 (人)	務 (人)	の 他 (人)	
藤枝市	71,532	2,183	39	71	13	4,964	17,406	360	4,931	14,055	1,584	1,054	20,999	2,294	1,579	令和2年 国勢調査
計	71,532	2,183	39	71	13	4,964	17,406	360	4,931	14,055	1,584	1,054	20,999	2,294	1,579	
比率(%)	100	3.1		0.2		6.9	24.3	0.5	6.9	19.6	2.2	1.5	29.4	3.2	2.2	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

項目 市町村名	農家総戸数	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)					耕地の分散状況		専業別農家戸数 (戸)			備 考		
		例外規定の適用を 受けるもの	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当り団地数	団地当り面積	専業	兼業			
			ha ~ 0.5	~ 1.0	~ 1.5	~ 2.0	~ 3.0	~ 5.0	~ 10.0	~ 20.0	以上											第1種		第2種	
藤枝市	1,068	64	328	403	131	42	47	19	16	3	1	14	0.6	0.1	0.7	1.4	0.0	1.4			167	127	753	2020年農林業センサス (R2)	
計	1,068	64	328	403	131	42	47	19	16	3	1	14	0.6	0.1	0.7	1.4	0.0	1.4			167	127	753		
比率(%)	100.0	6.0	30.7	37.7	12.3	4.0	4.4	1.8	1.5	0.3	0.0	1.3	42.9	7.1	50.0	100.0	0.0	100.0			16.0	12.1	71.9		

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具										主要家畜								備考	
	トラクター		動力田植機		コンバイン						乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏			
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (羽)	戸数 (戸)		
藤枝市	812	783	725	719	520	513					0	0	X	2	X	0	15,720	7	2020年農林業センサス(R2)	
計	812	783	725	719	520	513					0	0	0	2	0	0	15,720	7		
100戸当たり数量(台)	104		101		101						0		0						台/戸数	
利用戸数割合(%)	73.3		67.3		48.0						0.0		0.2				0.7		戸数/農林業経営体数×100	

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 名		藤枝市		計	平均	作付率 (%)	備 考	
総耕地 面積 (ha)		2,310		2,310	2,310			
総本地 面積 (ha)		2,248		2,248	2,248			
区 分 作物名		作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10 a)		作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10 a)		
田	表作	694	477		694	477	31%	総耕地面積・作付面積 ・農林水産統計年報 R2～3年 (農業経営体-経営耕地) 単位面積当り収量 ・田……農林水産統計年報 R2～3年 ・畑…… #
	裏作							
	小 計	694			694			
畑	レタス	30	2,827		30	2,827	1%	総本地面積の算定 ・本地面積 / 総面積 $3,260 / 3,350 = 0.97313$ ・総耕地面積 × 0.97313 = 総本地面積 本地面積記載最終年度 第38次 農林水産統計年報 H2～3年参照
	トマト	3	2,500		3	2,500	0%	
	小 計	33			33			
樹園地	茶	1,020	850		1,020		45%	
	みかん	213	1,577		213		9%	
	小 計	1,233			1,233			
計		1,960			1,960		87%	
市町村別延べ作付率(%)		87%						

(第7表-5)

5. 農業の動向																	
項目 区分	農 家			土 地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域 指定等	備考
		B (H27)	A (現在)		B (H27)	A (現在)	作物名	B (H27)	A (現在)	家畜名	B (H27)	A (現在)	農機具名	B' (H22)	B (H27)		
変化 の 状況 (C年 を100 とする 指数)	総農家数	78	31	耕地	66	49	水稻	108	95	乳用牛			動力田植機	79	58	A: 現在(令和2年) (農林業センサス2020) B: 平成27年 (農林業センサス2015) B': 平成22年 (農林業センサス2010) C: 平成17年 (農林業センサス2005)	
	専業農家数	113	47	田	78	62	レタス	103	83	肉用牛	0	0	トラクター	77	61		
	第一種兼業 農家数	39	23	畑	81	107	茶	49	30	豚			コンバイン	76	62		
	第二種兼業 農家数	60	58	樹園地	55	33	みかん	66	49	採卵鶏	595	425	※農林業センサス2020に記載 がないため、A→B、				
	農 業 従事者数	36	39														
変化 の 理由	社会経済の発展や農業構造の発展が進み、他産業への就労機会の増大により総農家数が減少傾向にある。			農業従事者の高齢化による変化により耕作放棄地の増加。			営農形態の変化			生産環境の変化			農業従事者の高齢化による変化により、担い手農家への集積及び作業委託により。				

第6節 地域環境の概況

藤枝市は静岡県の中部に位置し、東は静岡市に隣接し、西には1級河川大井川が流れており、志太平野は、大井川用水を利用した稲作の盛んな地域である。
また、山の手では、お茶やみかんも生産され、山地から平野まで、多種多様な農業が営まれている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

本地域の農業は、気象・地理的条件を生かした茶の栽培が古くから盛んである。しかしながら急傾斜な茶園と狭隘な園内道路に起因する乗用型茶園管理機導入等による農作業の効率化の遅延や、作業従事者の高齢化、後継者不足等により、継続的な農業経営が困難となりつつある現状である。そこで、区画整理を実施し、茶園の平坦化を図るとともに、園内道路及び支線農道を整備し、農作業の効率化を促進し、農業競争力の強化を図りたい。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名	水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))												計 (ha)	備考	
	土地利用区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	山林 (ha)	市街地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	山林 (ha)	市街地 (ha)	その他 (ha)			小計 (ha)
区画整理			8.3				8.3							8.3	
農道整備			3.3				3.3							3.3	1.2haは区画整理と重複
計			10.4				10.4							10.4	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区は、静岡県藤枝市の最北部に位置する旧瀬戸谷村の二級河川瀬戸谷川沿いの山間地に茶園が点在する中山間地域である。清流がつくった山間の土地は、水はけの良い肥沃な土壌で、朝夕、川霧に包まれ、日差しも柔らかで、昼夜の寒暖差が大きいことから、香り高い茶の産地として知られ、約40年前から有機・無農薬のお茶づくりに取り組んでいる地域である。

しかし、本地区は、急傾斜な茶園と狭隘な園内道路により、乗用型茶園管理機の導入が遅れており、効率的な茶業経営に支障をきたしているとともに、老齢茶樹が増え、生産力の低下が懸念されている。

このため、「瀬戸谷地区茶業員会」の会員である地域の担い手を中心に「藤枝市瀬戸谷地区営農ビジョン」に基づき、15年以上の長期間の営農方針を明らかにし、基盤整備を契機に現況品種”やぶきた”から藤枝市推奨の”さえみどり”や”おくみどり”に改植し、有機碾茶等の高付加価値化に取り組むこととした。

また、ビジョンの中では、農地の流動化を推し進め中心経営体へ積極的に農地を集約することで、地域農業の持続的発展を図ることとしている。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考	
	区分													
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))	現況		-	-	-	10.2 (10.7)		10.2 (10.7)	-	-	0.2 (0.1)	10.4 (10.8)	上段:変更前 下段:変更後	
	計画					10.2 (10.4)		10.2 (10.4)			0.2 (0.4)	10.4 (10.8)		
	現況													
	計画													
	現況													
	計画			-	-	-				-	-			
計	現況					10.2 (10.7)		10.2 (10.7)			0.2 (0.1)	10.4 (10.8)	上段:変更前 下段:変更後	
	計画					10.2 (10.4)	14	10.2 (10.4)			0.2 (0.4)	10.4 (10.8)		

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	地目	区分 作物	1年目												2年目											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
				水利施設等保全高度化事業	現況	樹園地	茶					x			x								x		x		
計画	樹園地	有機茶						x	x					x	x				x	x					x	x	

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)			単位面積当り収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳		備考
	地目名			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減量	単位面積当 収量増加		
																	水利施設等保全高度化事業	
茶(二番茶)	3.6		-3.6	55		95		-95	3.4		-3.4	-3.4						
有機茶(一番茶)		5.4	5.4		100		133	133		7.2	7.2	7.2						
有機茶(秋冬番茶)		5.4	5.4		100		133	133		7.2	7.2	7.2						
計		10.2	10.8	0.6								5.9	5.9					

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目		作物名	作付面積	単位面積当り労働投下量 (hr/10a)			備考	
	地目名				区分	現況	計画		増減
機械	55.8	15.6	-40.2						
	計		5.4						

6. 級地別土地利用区分 ※該当なし

(第9表-5)

土地利用区分	級地名	農用地造成					干拓					備考
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
田												
輪換耕地												
畑												
普通畑												
牧草畑												
樹園地 (果樹園)												

7. 土地配分計画

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)						備考
		田	輪換耕地	畑			計	
普通畑	牧草畑			樹園地				
	8					8.0	8.0	

第3節 用水計画

- 1. 計画基準 ※該当なし
- 2. 計画かんがい方式 ※該当なし
- 3. 計画用水系統 ※該当なし

4. 計画用水量

(1)かんがい用水 ※該当なし

(第10表-1-1)

項目 種別 系統名	面積 (ha) 事業名 水利施設等保全高度化事業	水田かんがい			畑地かんがい			田 畑 輪 換						消費 水量 (m3/S)	損 失 量 (m3/S)	粗用水量		備考
		普通期 計画平均 単位用水 量 (mm/日)	代播期 計画代播 単位用水 量 (mm/日)	面 積 (ha)	1日当り 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	水田かんがい			畑地かんがい					平均 最大 (m3/S) (m3/S)		
								普通期 計画平均 単位用水 量 (mm/日)	代播期 計画代播 単位用水 量 (mm)	面 積 (ha)	1日当り 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)					
																	普通期 計画平均 単位用水 量 (mm/日)	

(2)営農飲雑用水 ※該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積			日当り給水量		補給回数	関係戸数	備考
		事業名			単位給水量	最大給水量			
				計					

5. 水源計画

(1)水利用計画 ※該当なし

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 a (千m3)	有効雨量 b (千m3)	純用水量 c=a-b (千m3)	粗用水量 d=α(1-a) (千m3)	現況利用可能水量			不足量		水源保存量		水源 工種	備考
					水源名 (揚水機場)	取水地点 利用可能量 e (千m3)	田畑面 利用可能量 f (千m3)	純不足量 g=c-f (千m3)	全不足 水量 h=d-e (千m3)	水源名	水量 (千m3)		

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 ※該当なし

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (ha)		かんがい面積 (ha)			有効貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接	事業							
			田	畑・その他	計					

(イ) 井堰及び自然取入口 ※該当なし

(第10表-4)

項目 取水施設	河川名	流域面積	かんがい面積 (ha)			取水量		渇水量 (m ³ /s)	備考
			水利整備事業			最大 (m ³ /s)	平均 (m ³ /s)		
			地区内	地区外	計				

(ウ) 揚水機 ※該当なし

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量		揚水機				備考
		事業			最大 (m ³ /s)	平均 (m ³ /s)	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
		地区内	地区外	計							

(エ) 用水路 ※該当なし

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最 通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	備 考
	地区内	地区外	計				

(オ) その他の水源 ※該当なし

(3) 水温水質 ※該当なし

第4節 排水計画

- 1. 計画基準雨量 ※該当なし
- 2. 計画排水方式 ※該当なし
- 3. 計画排水系統 ※該当なし

4. 排水量 ※該当なし (第11表-1)

排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (ha)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m3/s)		基底流量 (m3/ha)		全洪水量 (m3/s)			単位排水量 (m3/s/ha)		備考
	事業			山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
	農地	その他	計									自然排水	機械排水			
計																

5. 排水対策

(1) 排水水門 ※該当なし (第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水本川			備考
		事業			排水量 (m3/S)	地区内たん水深 (m)	名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	
計										

(2) 排水機 ※該当なし (第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水機			備考
		事業			排水量 (m3/S)	地区内たん水深 (m)	名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	
計			農地	その他						

(3) 排水路 ※該当なし (第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)			計画排水量 (m3/S)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		事業						名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	
計			農地	その他							

(4)その他

6. たん水検討 ※該当なし

(第11表-5)

系統名	受益面積 (ha)	計画洪水量 (m ³ /S)	既設排水能力 (m ³ /S)	必要排水能力 (m ³ /S)	排水方式	標高			湛水状況(許容湛水位以上)			備考
						田面標高	計画外水位	最高外水位	最大湛水面積	計画内水位	最大湛水時間	

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1)道路

(第12表-1)

路線名	項目	幅員 (有効)	延長 (m)	構 造	既設道路との関係	備 考
ネギ山農道		3.0	500	CO舗装	拡幅改良	

(2)索道 ※該当なし

(第12表-2)

路線名	項目	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考

2. 路線配置図

※該当なし

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画 ※該当なし

(第13表-1)

地目名	項目	主・要 作 物	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 態	標 準 区 画 の 形 状	備 考

2. 土壌改良 ※該当なし

(第13表-2)

区分	項目	面 積	土 壌	pH		置 換 酸 度 (V)	リン酸吸収 係 数 (ma/100a)	ha 当 り 所 要 量			備 考
				H O	KCI			石 灰 (t)	リン酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量 ※該当なし

2. 計画洪水量及び調節量 ※該当なし

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時調節の量 (m ³ /s)	ピーク時調節後流量 (m ³ /s)	調節後最大流量 (m ³ /s)	調節前後の最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)

3. 貯水池 ※該当なし

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量			計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備考
	直接 (km ²)	間接 (km ²)		有効 (千m ³)	洪水調節容量 (千m ³)	多目的 (千m ³)			

4. 洪水調節検討

- (1) 河川改修計画との関係 ※該当なし
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響 ※該当なし
- (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討 ※該当なし

5. 管理計画

- (1) 管理機構 ※該当なし
- (2) ダム管理操作上の各種基準 ※該当なし
- (3) 洪水調節要領 ※該当なし

第8節 干拓計画 ※該当なし

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮水位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画形状 (第16表-1)

長辺 × 短辺	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田差 (cm)	備考
100.0 × 30.0	0.3	8.0			

(2) 表土扱い (第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m3)	備考
4.6		60		

(3) 末端道水路配置図 ※該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水 ※該当なし (第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壤統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (l/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方式	備考
	事業名	計							

(2) 心土破碎 ※該当なし (第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)			土壤統(区)名	土壤硬度	備考
	事業名	計				

3. 客土 ※該当なし (第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土壤統(区)名	減水深(mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当り客土量 (m3)	土壤の性質		備考
	事業名	計			現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地 (%)	採土地 [客土材料](%)	

4. 農地保全

(1) 防災林 ※該当なし (第16表-5-1)

区分	項目	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2) 排水工 ※該当なし (第16表-5-2)

区分	項目	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
					単位排水量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m ³ /s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

※該当なし (第16表-5-3)

施設名	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考

第10節 老朽ため池改修計画 ※該当なし

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量 ※該当なし

(2) 計画洪水量 ※該当なし

2. 堤体補強計画 ※該当なし

3. 取水施設改修計画 ※該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池 ※該当なし

(第17表-1)

名称	型式	流域面積 (km ²)		位置	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	基盤・地盤地質	貯水量 (千m ³)		備考
		直接	間接						総貯水量	有効貯水量	
堤体											
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型式	放流量 (m ³ /s)	備考	

2. 頭首工 ※該当なし

(上段:現況 下段:計画)

名称	型式	堤体 (m)	堤長 (m)			取水位 (m)	取水量 (m ³ /s)	付帯施設	備考
			固定部	可動部	計				

3. 揚水機

※該当なし

(第17表-3)

項目名称	位置	揚水量 (m ³ /S)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力	台数 (台)	

4. 用水路

※該当なし

(第17表-4)

項目名称	支配面積 (ha)			通水量 (m ³ /S)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	地区内	地区外	計		総延長	開渠	その他				

5. その他のかんがい施設

※該当なし

(第17表-5)

施設名	項目	構造	規模	数量	備考

第2節 排水水門

1. 排水水門

※該当なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m ³ /S)	備考

2. 排水機

※該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /S)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	形式	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力	台数 (台)	

3. 排水路

※該当なし

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m ³ /S)	延長 (m)			構造	備考
	事業				総延長	開水路	その他		
	地区内	地区外	計						

4. その他排水施設 ※該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅員 (m) × 延長 (m)	構造	付帯構造物			最急 勾配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
	ネギ山農道	3.0 × 500	CO舗装	待避所	擁壁工	2				

(2) 道路主要構造物 ※該当なし

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模	構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2. 索道 ※該当なし

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	電力 (t/hr)	原動機		備考
				型式	動力	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成工

(1) 抜根 ※該当なし (第20表-1)

区分	項目	樹種	樹径 (cm)	ha当り本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計						

(2) 除礫 ※該当なし (第20表-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当り平均除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

(3) 開墾作業 ※該当なし (第20表-3)

区分	項目		面積 (ha)	工法	備考
	地目	造成工法			
	計				

(4) 地目変換 ※該当なし (第20表-4)

区分	項目	面積 (ha)	工法	備考
	計			

(5) 末端用水路等 ※該当なし (第20表-5)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(6) 末端排水路等 ※該当なし (第20表-6)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 土壌改良 ※該当なし (第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石炭量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
	計					

第5節 洪水調整機能

1. 貯水池 ※該当なし.....

2. 頭首工及び導水路

(1)頭首工 ※該当なし (第21表-1)

名称	位置		長 (m)			計画洪水位 (m)	付帯施設備	備考
	集水面積 (km ²)	堤高 (m)	固定部	可動部	計			
型式								

(2)導水路 ※該当なし (第21表-2)

項目 水路名	通水量 (m ³ /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		総延長	トンネル	その他			

第6節 干拓施設

1. 堤防 ※該当なし (第22表-1)

項目 名称	型式 (m)	延長 (m)	構造				原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土高 (m)	盛土標高及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	

2. 潮止め ※該当なし (第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 付属施設 ※該当なし.....

4. 埋立 ※該当なし (第22表-3)

項目 名称	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施工方法	備考

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量 千m3	面 積 (ha)	土 量 千m3	
向 山	1.3	0.3	7	0.8	7	
亀 窪	1.0	0.3	11	0.7	6	
ネ ギ 山	1.3	0.3	6	0.9	7	
牛 ノ 沢	1.0	0.3	9	0.7	6	上段:変更前
	1.2	0.3	9	0.7	6	下段:変更後
大 段	1.0	0.3	4	0.7	6	
菩 提 日 影 沢	0.7	0.3	9	0.6	5	
野 竹	1.8	0.3	13	1.1	10	上段:変更前
	2.2	0.3	13	1.1	10	下段:変更後

(2) 末端用水路等 ※該当なし

(第23表-2)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
	計				

(3) 末端排水路等 ※該当なし

(第23表-3)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
	計				

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水 ※該当なし

(第23表-4-1)

項目	面 積 (ha)		集 水 渠				吸 水 渠					集水渠出口以下の排水施設			備 考	
	事 業 名	計	勾 配	管 種	管 径 (mm)	延 長 (m/ha)	勾 配	管 種	管 径 (mm)	深 さ (m)	間 隔 (m)	延 長 (m/ha)	名 称	構 造		数 量 (m/ha)
区分																
計																

(2) 心土破碎 ※該当なし

(第23表-4-2)

区 分	項 目	対象土層の厚さ (cm)	ha当り標準除礫量 (m3/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
	計					

3. 客土 ※該当なし

(第23表-5)

項目	面 積 (ha)			客 入 土 量 (m3)	土 取 場 土 量 (m3)	運 搬 距 離 (km)	運 搬 方 法	備 考
	事 業 名	計	計					
区分								
計								

4. 除礫 ※該当なし

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当り標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

5. 農地保全

(1) 防災林 ※該当なし

(第23表-7)

区分	項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
	計						

(2) 排水路 ※該当なし

(第23表-8)

区分	項目	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考
	計				

(2) 侵食防止工 ※該当なし

(第23表-9)

名称	項目	構造	数量	備考
	計			

第 8 節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池 ※該当なし

(第24表)

名称	位置				備考			
提体	形式	流域 (km ²)	提高 (m)	提長 (m)	提体積 (m ³)	提長幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
洪水吐	形式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	形式	取水量 (m ³ /s)	備考

2. 堤体補強施設 ※該当なし

第6章 付帯工事計画 ※該当なし

第7章 工事の着手及び完了予定時期

着 手：平成 31 年度 完了予定：令和 4 年度
(令和 6 年度)

第8章 環境との調和への配慮

地域環境の保全に配慮した持続的な農業の推進や国土の保全、良好な景観形成など、農業の持つ多面的機能の発揮と生態系の保全に配慮し整備を実施する。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方。

本事業の実施により、工事前の区画形状が大きく変更されるため、従前の土地の上に存する権利関係を工事後の土地の上に確定し、換地処分を行う必要がある。換地計画を作成するにあたっては、農用地の集団化を図り、農業構造の改善することの目的から換地計画を定める必要がある。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)	備考	
瀬戸谷地区	向山工区	藤枝市大字瀬戸ノ谷	1.3	
	亀窪工区	藤枝市大字瀬戸ノ谷	1.0	
	ネギ山工区	藤枝市大字瀬戸ノ谷	0.6	
	牛ノ沢工区	藤枝市大字瀬戸ノ谷、本郷	1.1 (1.2)	上段:変更前 下段:変更後
	菩提日影沢工区	藤枝市大字滝沢	0.9 (0.8)	上段:変更前 下段:変更後
	野竹工区	藤枝市大字滝沢	1.7 (2.1)	上段:変更前 下段:変更後
計		6.6 (7.0)	上段:変更前 下段:変更後	

2. 換地区を設定する理由

換地区については、地域、場所が離れている等により各集落間の出入り作もなく工事施工年度や換地交付率に異差が生じるため、各地域ごと独立した換地区として設定する。これにより農地利用の効果を最大限に引き出すとともに、換地処分を円滑に実施する。

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

	換 地 区 名	地 積 の 基 準	備 考
瀬 戸 谷 地 区	向山区	土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。また、決定の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補又は、土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合は、その申出のあった地積とする。	
	亀窪工区		
	ネギ山工区		
	牛ノ沢工区		
	菩提日影沢工区		
	野竹工区		

3. 農用地集団化の方針

換地区名	区分	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法			備考
			位置の選択方法	1戸当り目標団地数	区画畦畔の取扱い	
瀬戸谷地区	向山工区	農用地利用集積促進区域別 集団化	各人の換地は、土地利用計画 を考慮し、育成すべき経営体の 経営農用地を中心に集団化する。	一戸当りの団地数はおおむ ね1～2団地とする	移動畦畔	
	亀窪工区					
	ネギ山工区					
	牛ノ沢工区					
	菩提日影沢工区					
野竹工区						

4. 非農用地換地の方針

換地区名	区分	用途	非農用地区域の位置の概要	面積 (㎡)	換地の手段	上段:変更前	備考
						換地取得予定者	
野竹工区		原野	公園のとおり	0 (1947.0)	特定用途用地	従前所有者	(第25表-5)

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

標準地比準方式

2. 清算の方法

増価額比例地積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

換地区名		区分	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考
瀬戸谷地区	向山工区		令和2年度	令和3年度 (令和5年度)	令和3年度 (令和5年度)	上段:変更前 下段:変更後
	亀窪工区		令和2年度	令和3年度 (令和6年度)	令和3年度 (令和6年度)	
	ネギ山工区		令和2年度	令和3年度	令和3年度	
	牛ノ沢工区		令和3年度	令和4年度 (令和5年度)	令和4年度 (令和5年度)	
	菩提日影沢工区		令和3年度	令和4年度	令和4年度	
	野竹工区		令和3年度	令和4年度 (令和5年度)	令和4年度 (令和5年度)	

第6節 換地処分の時期に関する特則

各換地区において、換地区内の区画形状の変更に係る工事が全て完了し、確定測量が実施されたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項本文の規定にかかわらず、換地処分を行うことができるものとする。

第10章 事業費の総額及び内訳

名 称	事業費	総事業費
瀬戸谷	350,000 千円	367,000 千円
計	350,000 千円	367,000 千円

内 訳

(第26表)

区 分 \ 項 目	数 量	事 業 費			備 考
		瀬戸谷		計	
1. 工 事 費	1.0 式	235,000 千円		235,000 千円	
2. 測 量 試 験 費	1.0 式	50,000 千円		50,000 千円	
3. 用 地 買 収 補 償 費	1.0 式	25,000 千円		25,000 千円	
4. 換 地 費	1.0 式	40,000 千円		40,000 千円	
事 業 費	1.0 式	350,000 千円		350,000 千円	経営高度化支援29,750千円
4. 地 方 事 務 費	1.0 式	17,000 千円		17,000 千円	
総 事 業 費	1.0 式	367,000 千円		367,000 千円	

第11章 効用

単位;千円 (第27表)

事業名	項目 区分	年総効果(便益)額	年増加農業所得額	備考	
				備	考
水利施設等保全高度化事業	作物生産効果	4,112	8,411	当該事業による費用	302,487
	国産農産物供給効果	1,813	-		
	営農経費節減効果	13,870	13,870	その他費用(関連事業費+資産価額+再整備費)	20,378
	維持管理費節減効果	△ 87	△ 87		
	地籍確定効果	100	-		
	営農に係る走行経費節減効果	19,008	19,008	総費用(現在価値化)計	322,865
	計	38,816	41,202		
	総便益額(現在価値化)	704,937		総費用総便益比	2.18

第12章 関連する事業

※該当なし

(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容

第13章 現況・計画図面

- 1. 計画平面図 別添参照
- 2. 計画一般図 別添参照